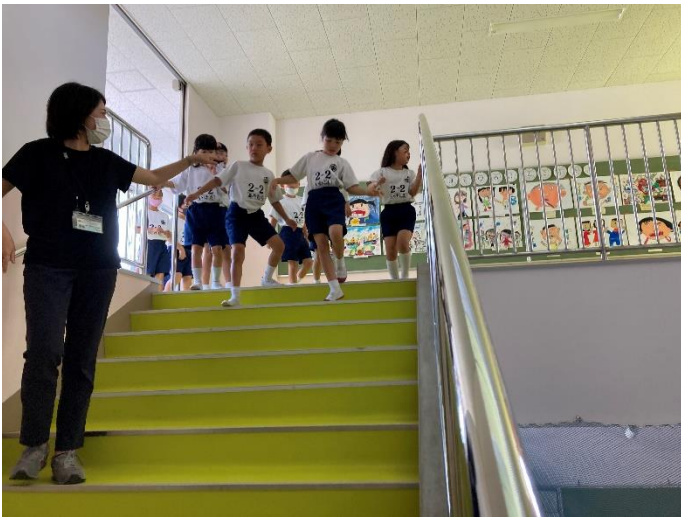


2校時に、校庭に不審者が侵入したことを想定した、避難訓練を行いました。

「練習は本番のように、本番は練習のように」が訓練では大切です。どの学年もしゃべらず、すみやかに校舎から体育館避難することができました。

不審者と遭遇した時の合い言葉は「いかのおすし」です。ご家庭でも子ども110番の場所を確認し、登下校について改めて話してみてください。



学級ごとにならんで、静かに体育館に移動することができました。先生たちが確認などをする間も、子供たちは静かに待つことができました。



警察の方から、登下校等で、不審者にあつたときは、「まずは、自分の安全をまもることが大切。」と、お話がありました。

- ・ 「いかのおすし」、大声が出せないときは防犯ブザー。まずは逃げる！。
- ・ 子供110番の家に行く。子供110番の家がなければ、近くの家、お店、学校。公共施設などに行き大人に助けを求める。



不審者がいたら、不審者がいたことをお家の人にも伝えることも大切です。  
また、分かる範囲で、次のことも知らせてくれると、警察の方々は助かるそうです。

- 不審者の特徴（服装（色，服の種類など），何歳くらい?。）
- 車（どんな車?。色，ナンバー，どっちに行ったか，など）

でも、「一番は安全に逃げること。」と警察の方もおっしゃっていました。

校長先生からも、「避難訓練は100点満点でないといけません。」「お家でも、避難訓練の話をしてください。」とお話がありました。

「いかのおすし」

「いか」・・・知らない人について行かない

「の」・・・知らない人の車に乗らない。

「お」・・・大（おお）声で知らせる。

「す」・・・すぐ逃げる。

「し」・・・お家の人や先生などの大人に知らせる。